

案件概要書

2011 年 10 月 18 日
国際協力機構東南アジア・大洋州部
東南アジア第六・大洋州課

1. 案件名（国名）

国名：パプアニューギニア

案件名：マダン市場・栈橋整備計画 (The Project for Construction of Madang Fish Market and Jetty Facilities)

2. 事業の背景と必要性**(1) 当該国における農業・水産業セクターの開発実績（現状）と課題**

パプアニューギニア（以下「PNG」という）においては、農業・水産業セクターは、同国の GDP の 34.1%（2009 年）に貢献している主要産業である。しかしながら、輸出品以外の農業・水産業は、自給的・零細規模の活動が中心であり、その生産物のうち、自家消費に回らない余剰生産物が、地方市場において小売流通しており、人々の貴重な現金収入源となっている。このような自給的な農業・水産業に、地方部に住む 85%以上の住民が従事しているとされている。以上のような状況の下、PNG で 5 番目の人口を有するマダンにおいては、マダン州やハイランド地区など、周辺地区から多くの農水産物が集積しており、マダン公設市場がその流通の中心となっている。マダン公設市場はマダン市街の中心地にあり、マダン住民に対する農水産物の小売市場であると同時に、内陸部や離島、あるいはハイランド地区の農民・漁民が多くの農水産物を持ち込み、地元産品から現金収入を得られる重要な場所にもなっている。しかしながら、同公設市場は老朽化が激しく、衛生状態にも問題があるほか、現状の流通規模に対して規模が小さく、市場で流通する物資の荷役も非効率な状態となっており、結果として農水産物のさらなる流通促進を妨げている状況である。そのため、マダン市はマダン公設市場周辺を総合市場整備拠点として再開発する計画を立て、整備開発案を作成したところであるが、その実現のためには、マダン公設市場施設の改修が緊急の課題のひとつとなっている。

(2) 当該国における農業・水産業セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

PNG 政府は、2050 年までに、国連の人間開発指数で上位 50 位に入ることと、鉱物資源への依存から脱却し、農水産業などの持続可能な産業推進による経済成長を実現するという、長期的な国家開発計画「PNG Vision 2050」を発表し、農業・水産業を含む産業の振興を推進している。またセクター開発政策としては、「National Agriculture Development Plan 2007-2016」（農業畜産局）および「National Fisheries Development Plan Framework 2006-2016」（国家漁業公社）等で、生産物の流通と価値の増大、農業・水産業を通じての食糧安全保障・雇用・経済発展への貢献、市場へのアクセスの改善等を掲げており、本事業はこれら計画・政策を実現するための重要な取り組みの一つであると言える。またマダン公設市場においては、既存市場施設の老朽化が進んでおり、衛生面にも懸念がある状況であり、本事業の早期実施の必要性は高い。

(3) 農業・水産業セクターに対する我が国の援助方針

2009 年に開催された第 5 回太平洋・島サミットにおいて、太平洋島嶼国における食糧安全保障および持続可能な経済発展のために必要な支援として、農業・水産業が取り上げられている。また、農業・水産業は対 PNG 事業展開計画における開発課題「島嶼経済の活性化」に位置づけられている。

(4) 他の援助機関の対応

現時点において、主要ドナーによる当該分野での目立った動きは見られない。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

マダン公設市場に、当該地域の需要に対応しうる適切な市場施設および棧橋を建設することにより、域内農水産物流通の活性化を図り、当該地域の持続的経済発展に資することを目的とする。具体的には、適切な環境・状態で販売される農水産物の増加や、市場の入り江側における荷役効率の向上を目指す。詳細は調査を通じて、成果指標と共に検討を行う。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

PNG 国マダン市

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

【施設】市場棟増設（4 棟 x 約 140 m²（改修）、2 棟 x 約 182 m²（新設））、鮮魚売場棟新設（5 棟 x 約 60 m²）、生鶏売場棟新設（3 棟 x 約 60 m²）、製氷施設／鮮魚売場管理事務所新設（1 棟 x 約 110 m²、製氷日産 5 トン、貯氷庫 25 トン）、市場内・周辺舗装（約 11,100 m²）、公衆トイレ／市場トイレ改修（2 棟 x 約 75 m²）、市場駐車場／ゴミ集積場舗装（約 900 m²）、市場棧橋新設（1 基、アクセス部 3.5m 幅 x 14m、接岸部 6m 幅 x 13.5m 長）、ラグーン入口渡り橋改修（5m 幅 x 15m 長）（要請ベース：詳細については協力準備調査にて確認する）

【機材】保冷魚箱、秤、製氷保守工具、高圧洗浄機、清掃用具、ピックアップ・トラック、管理用コンピュータ・プリンター（要請ベース：詳細については協力準備調査にて確認する）

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細については協力準備調査にて確認する。

3) 調達・施工方法

詳細については協力準備調査にて確認する。

(4) 事業実施体制

事業実施機関：国家漁業公社（NFA）

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：B

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる影響を及ぼしやすいセクター・特性及び影響を受けやすい地域に該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断されるため。

2) 貧困削減促進等：地域住民に現金収入機会が提供されることによる効果が期待される。

(6) 他スキーム、他ドナー等との連携：特に無し。

(7) その他特記事項：PNG では、伝統的土地所有権にかかる考えが根強く、政府による事業用地の取得の際に、被影響住民からの理解が得られないなどの問題や、それに伴う事業の遅延が発生することがあり、調査計画の策定に当たっては留意が必要。なお、本件計画地については政府所有地であることが確認されており、基本的には問題はない。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

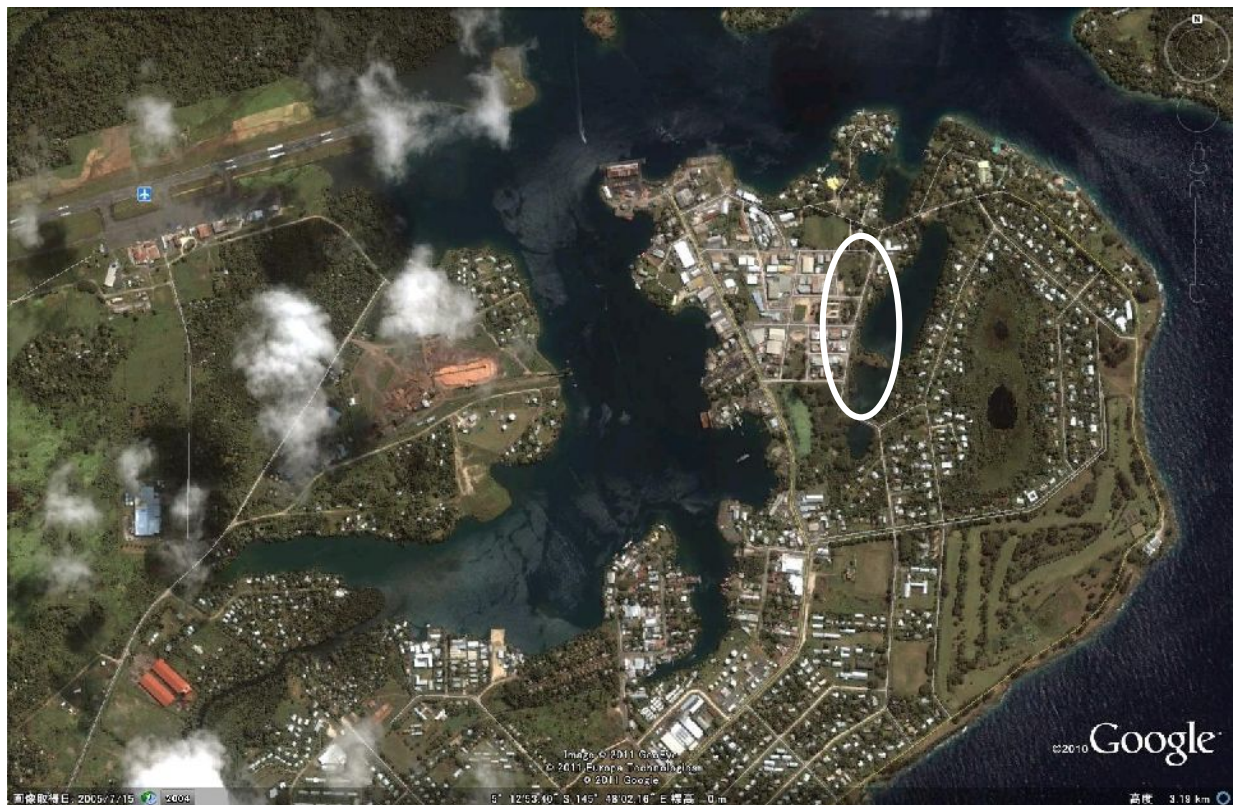
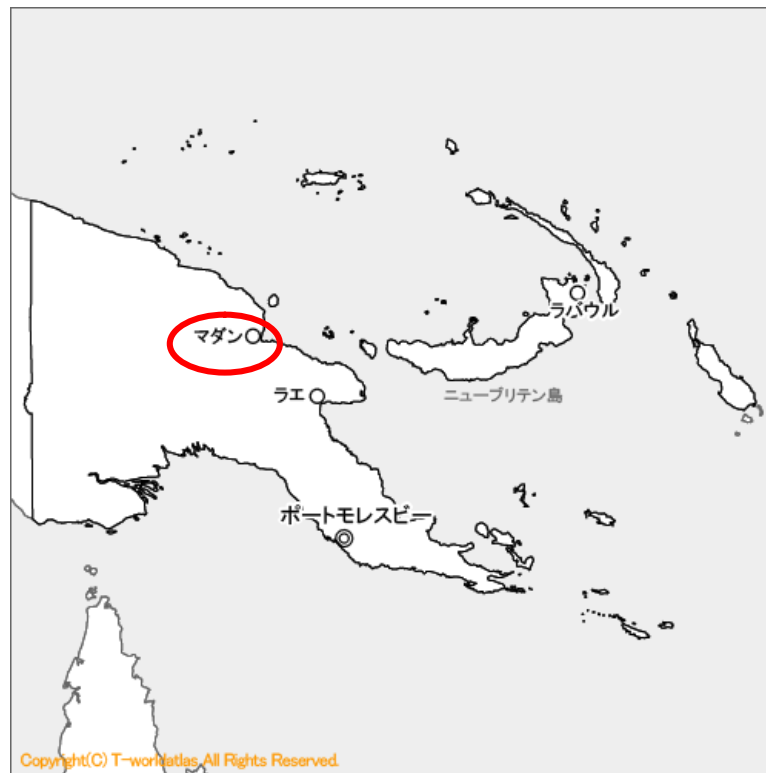
(1) 類似案件の評価結果

過去の PNG 国無償資金協力「ウェワク市場および棧橋整備計画」の基本設計時には、製氷機のメンテナンスおよび市場施設維持管理のために、必要な財源や技術者を確保することが重要とされている。

(2) 本事業への教訓

本事業では、製氷機と棧橋の維持管理については、氷の販売代金や棧橋の係船料を徴収することにより、施設の維持管理およびメンテナンス技術者の雇用を行う計画である。また実際の施設の運営は、漁業協同組合に委託する予定である。一方市場施設の維持管理は、既存のマダン公設市場の管理チームが引き続き施設の管理や利用料の徴収を行うこととしている。

プロジェクトサイト位置図



マダン市街地（丸で囲まれた部分がプロジェクトサイト）